

物理学分野

【学士力の考察】（下線部分を修正）

そのような背景から、物理学教育を市民的教養水準としての科学的リテラシー教育と、技術への応用に的確な見解を示せ、かつ学問の発展に寄与できる資質を育成できる専門基礎知識の教育とに位置付けた。それらは双方ともに科学技術社会の持続的発展に貢献できる役目を内在している。つまり科学的リテラシーとしての物理学教育は、未来社会を考える上で必要な自然現象や地球環境に関心を持ち、理解していくための基礎知識を身につけることに重点を置いている。

他方、専門基礎教育としての物理学教育では、科学的リテラシーに加えて、普遍的で客観的な物理学の知識に秘められている多様な可能性を探究し、原理原則に立ち戻り問題を解決できる論理的思考法と科学的態度が養成されることに重点が置かれている。

そこで、物理学教育の達成目標として、科学的リテラシーとしての一般レベルと専門基礎教育の両面から以下の三点を考察した。

【到達目標 1】（到達度の下線部分を修正）

【到達目標】

1. 物理学の基本概念と法則を理解できる。

【到達度】

<一般レベル>

- ① 典型的な物理現象の要因を理解できる。

<専門レベル>

- ① 典型的な物理現象を物理法則に基づいて説明できる。